

[1-4] テトラクロロビフェニル類・底質(単位: pg/g-dry)

調査年度: 2016

検出頻度(地点ベース): 62/62(欠測等: 0)

検出頻度(検体ベース): 62/62(欠測等: 0)

検出下限値: 3

定量下限値: 9

	集計値
幾何平均値	1,200
中央値	1,200
最大値	250,000
最小値	tr(4)

地方公共団体	地点番号	調査地点	測定値
北海道	1	天塩川恩根内大橋(美深町)	14
	2	石狩川河口石狩河口橋(石狩市)	160
	3	苫小牧港	1,700
岩手県	4	豊沢川(花巻市)	20
宮城県	5	仙台湾(松島湾)	1,000
仙台市	6	広瀬川広瀬大橋(仙台市)	36
秋田県	7	八郎湖	440
山形県	8	最上川河口(酒田市)	210
福島県	9	小名浜港	9,600
茨城県	10	利根川河口かもめ大橋(神栖市)	250
栃木県	11	田川給分地区頭首工(宇都宮市)	110
千葉県	12	市原・姉崎海岸	5,900
千葉県	13	花見川河口(千葉市)	210
東京都	14	荒川河口(江東区)	22,000
	15	隅田川河口(港区)	130,000
横浜市	16	横浜港	25,000
川崎市	17	多摩川河口(川崎市)	19,000
	18	川崎港京浜運河	47,000
新潟県	19	信濃川下流(新潟市)	99
富山県	20	神通川河口菟浦橋(富山市)	230
石川県	21	犀川河口(金沢市)	1,500
福井県	22	笙の川三島橋(敦賀市)	250
山梨県	23	荒川千秋橋(甲府市)	18
長野県	24	諏訪湖湖心	2,100
静岡県	25	清水港	5,200
	26	天竜川(磐田市)	33
愛知県	27	衣浦港	850
	28	名古屋港	12,000
三重県	29	四日市港	12,000
	30	鳥羽港	1,300
滋賀県	31	琵琶湖南比良沖中央	2,700
	32	琵琶湖唐崎沖中央	12,000
			※※2,400
京都府	33	宮津港	320
京都市	34	桂川宮前橋(京都市)	1,100
大阪府	35	大和川河口(堺市)	5,800
大阪市	36	大川毛馬橋(大阪市)	12,000
	37	淀川河口(大阪市)	25,000
	38	大阪港	250,000
	39	大阪港外	22,000
兵庫県	40	姫路沖	3,900
神戸市	41	神戸港中央	25,000
奈良県	42	大和川(王寺町)	95
和歌山県	43	紀の川河口紀の川大橋(和歌山市)	1,800
岡山県	44	水島沖	820
広島県	45	呉港	13,000
	46	広島湾	4,300
山口県	47	徳山湾	580
	48	宇部沖	1,100
	49	萩沖	350
徳島県	50	吉野川河口(徳島市)	140
香川県	51	高松港	16,000
愛媛県	52	新居浜港	140
高知県	53	四万十川河口(四万十市)	180
北九州市	54	洞海湾	140,000
福岡市	55	博多湾	2,500
佐賀県	56	伊万里湾	860
長崎県	57	大村湾	1,300
大分県	58	大分川河口(大分市)	130
宮崎県	59	大淀川河口(宮崎市)	14
鹿児島県	60	天降川(霧島市)	tr(4)
	61	五反田川五反田橋(いちき串木野市)	16
沖縄県	62	那覇港	4,800

(注1) 「検出頻度(地点ベース)」とは検出地点数/調査地点数(欠測等は除く)を、
「検出頻度(検体ベース)」とは検出検体数/調査検体数(欠測等は除く)をそれぞれ意味する。

(注2) 検出下限値以上を検出とした。

(注3) 「tr」は検出下限以上定量下限未満を意味する。

(注4) ※※3点で採取した試料を個別に分析し、過年度と比べて高値であった1点の試料を除く2点の平均値である。